



塾生さん、いま何してる？

『成果展 - 今後と向き合う時間』



【成果展の様子】

▼緊急事態宣言の発令により延期されていた塾生二年生の千龍さんの成果展が、七月一日より工芸館で始まりまし。千龍さんは、「未経験からスタートしたため苦労していますが、好きなモノづくりができて嬉しいことも多いです。少しでも誰かに喜んでもらえる物を作りたいと思っています。」と、自身の成果展に言葉を添えています。

まだまだ、挑戦したいこともあるようで、この塾生の期間に多くの経験を積んでもらえたらと思います。無事、成果展が始まり自身の作品と向き合うこの時期、いよいよ独立に向けた準備も始まっていきます。一番心配になってくるのは、工房をどこにどのように構えるか。共同工房もありますが、できればすぐにでも自分の工房を持つことがベスト。ここ数年の塾生達は、独立前に少しずつ空き家を探したりと、情報を集めていました。どのように工房を構えていくのか。独立への一歩を今後、お伝えできたらと思います。

【涼やかさを演出する

～氷コップ～

連日の暑さの中、見た目に涼やかさを演出する「ガラス」は、この時期とても重宝するものの一つです。

日本でのガラスの製造は、江戸時代中期頃から始まったとされますが、まだまだ当時は生産数も少なく庶民にとっては高嶺の花。それでも文政の頃には、中流クラスの庶民には手の届くものとなっていたようです。

高度な技術を持ったガラ

今日は何を知らるか

ふかよみ
コレク
ション

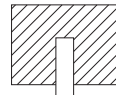


【氷コップ】

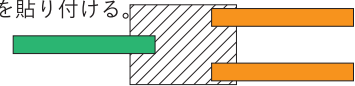
明治後期のガラス器は、比較的入手しやすく、骨董品コレクターの中にもファンが多い。

スが、庶民にも行き渡り始めたのは明治の頃。明治政府が「明治維新」という社会変革の中で、日本のガラス産業の技術力向上の為に英国の機械と技術者を導入した西洋式のガラス工場を設立したことに始まります。日本人の生活にもガラスがより身近なものになり、また明治後期にかき氷やアイスクリームが登場したことで、これらに似合うガラス器が多く作られるようになりました。

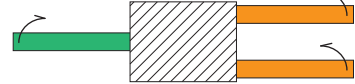
- ① 板材に角棒を図の向きの通りに接着
⇒これが一番上。角棒が持ち手になる。



- ② 残りの板材 4 枚に図の通り、リボン
を貼り付ける。



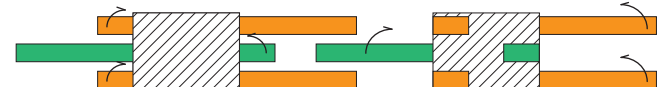
- ③ リボンを貼り付けた板材を裏返して、
リボンを折り込む。



- ④ リボンを折り込んだ板材の上に、③の状態の板材をのせる。



- ⑤ 下の板材の折り込んだリボンの端を、上にのった板材に貼り付ける。



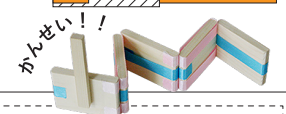
- ⑥ ③～⑤を繰り返す、最後に 1 の板材を
のせて、リボンを貼り付ける。

モクモクさんのお話

【ペタクタをつくらう！】

準備するもの

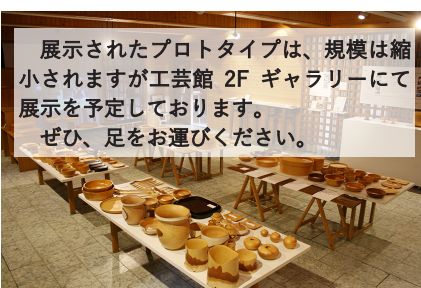
- ①縦 4.5cm×横 6cm
×厚さ 7mm の板 5 枚
- ②幅 1cm×長さ 8cm
×厚さ 8mm の棒 1 本
- ③幅 1cm×長さ 8cm の
リボン 12 本
- ④接着材（ボンド）



時松展会期終了のご報告

緊急事態宣言の発令により一時中断となり 7 月に再開した時松展ですが、19 日に会期が終了しました。

オケクラフトの育ての親である時松辰夫さん。置戸町にとって、オケクラフトにとって大切な方です。改めて感謝と追悼の意を表します。そして、ご来館いただいた皆さまありがとうございました。



展示されたプロトタイプは、規模は縮小されますが工芸館 2F ギャラリーにて展示を予定しております。ぜひ、足をお運びください。

今月の一品

かくれた一品 おすすめの一品
毎日 オケクラフトとともにいる
私たちの一品をご紹介します！



今回ご紹介するのは、多角小鉢。(Kinoca 作)

凛としたかっこよさが目を引き、思わず手に取ってぐるり 1 周眺めてしまいます。

やきものの面取りのように面を削り出していく技法で、作業は一発勝負。そのため外側は緊張感を漂わせていますが、内側の曲面は料理を受け入れる寛容さを感じます。角があることで持ちやすいので蕎麦ちょこにしても良いですね。種類は 18 角・8 角・6 角と三種三様。とっておきの肴を盛りつけて一杯いかがですか？

商品名：多角小鉢
サイズ：径 100mm 高さ 60mm
価格：4,950 円（税込み）
樹種：カバ、カツラ

ショップ販売員 青木

